

見なおそう!

みんなの健康

日本赤十字社和歌山医療センター
http://www.2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/

No.21

小児外科医療ひと筋に!



小児外科部長
中岡 達雄 (なかおか たつお)

須です。小児外科医はこれら手術を必要とする小児患者の治療を専門に行います。

以前は、小児の手術も大人の手術をす

る外科医が行っていたのですが、小児と大人では大きさもとより、疾患の内容も体の機能も全く違うため、それに特化した専門家が手術をするべきだと考えられるようになってきました。

例えば、新生児にみられる生まれつきの疾患である「先天性食道閉鎖症」や「小腸閉鎖症」などは、出生後すぐに手術を

行わなければ命を長らえることができません。現在では、小児外科 新生児科小児科、麻酔科、時には産科がそれぞれ協力し、出生後すぐに手術を含む適切な治療を行うことよ

多いのですが、小児外科の場合、心臓を除くいわゆる一般外科と言われる分野の疾患を全て扱います。患者さんの数が少なく、医師も少ないため、広い守備範囲が求められるので

「盲腸」といわれる急性虫垂炎などが、その他にも小児の「がん」や肝臓の病気、肺の病気、また、生まれつきの形態異常などがあります。

これらは発生頻度があとも低く、あまり遭遇することのない疾患ですが、治療のために手術が必

要とする疾患が少なからず存在します。小児外科医は手術のふみを行うのではなく、手術後の経過や患児の成長、さらにはご家族との生活に至るまで見守り続けます。

和歌山県での小児外科医療を充実させるべく、誠心誠意、努力してゆく所存です。

近年、外科では診療科の細分化が進み、呼吸器外科、消化管外科、肝胆脾外科、乳腺外科などに

分けられている施設が

「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出

て一般的によくみられるのは、「脱腸」と言われる鼠径(そけい)ヘルニア、「出